

ORIENT-EXPRESS

NEWS RELEASE



ロード・トゥー・マンダレー 1年ぶりにイラワジ川の究極のリバークルーズ再開

2009年8月



12ヶ月の修復・改装工事を経てオリент・エクスプレスの「ロード・トゥー・マンダレー」リバー・クルーズは2009年8月26日にビルマのイラワジ川に帰り、再びバガンからマンダレーの水路を往復運航します。

サイクロン・ナルギスによってもたらされた被害を受けたロード・トゥー・マンダレーは、フランス生まれ、ラオス在住の建築家フランソワ・グレック指揮の下、現地の職人による全面的なリモデルと改装作業を経て、今回の再スタートを切ることになりました。船は見た目も新しく生まれ変わり、収容人数を108名から82名に減らすことで、以前よりも格段と広々としたキャビンとなり、さらに優れた船上ステイを体験していただけるようになりました。

以前と同じように、ロード・トゥー・マンダレーでは、ビルマの大動脈を下りながら、国の中心部にアクセスしていただけるさまざまなプランをご用意しています。バガンとマンダレーの間を往復するコースには、3泊、4泊、そして7泊の基本コースがあり、さらに年に3回行われるマンマー北部に位置するバモーへの特別ツアーが予定されています。またすべてのコースにおいて、ヤンゴンやインレー湖、さらにインド洋に面するガパリでの宿泊プランを追加することが可能です。

船上では、リード・インテリア・デザイナーであるアリ・ケネディとアトリエ・ドゥ・ラ・ペニンシュレの協力のもとに完成したスタイリッシュな新しい空間の中でお過ごしください。リラックスした居心地の良い雰囲気はそのままに、窓から見られる美しい川岸の空気や色を損ねることのない洗練されたデザインとインテリアをお楽しみいただけます。

広々とした新しいガバナーズ・スイートと34室の新しいステイト・キャビンとデラックス・キャビンは、最高の快適性と、ビルマ産翡翠のタイルをあしらった、広いウォークイン・シャワー付きバスルームが魅力です。

レストランも全面的に改装され、壁や天井に飾られたローカルの職人が織りあげるビルマの伝統的な天然素材のファブリックに合わせ、柔らかい色調の黄色、緑、赤をベースとしたデザインに新しく生まれ変わりました。さらにマンダレー近郊のアンプラに住むビルマの職人が手作業で施したチーク材の壁の彫刻も特筆すべき装飾です。グレックのデザインによるレストラン内のクロムの壁とスタンドの照明がゆったりとくつろげる空間を作り出し、さらに調度品はバンコクにあるジム・トンプソンの布地でぜいたくに飾られています。

トップ・デッキとバーにはチーク材の床が張られ、ヤンゴンで作られたとても座り心地の良い籐製のソファや椅子が並んでいます。サン・デッキには、同じくヤンゴンで作られた蒸気船スタイルのデッキチェアが15脚並んでおり、クッションに使われているのは、やはりジム・トンプソンの生地です。

室内のピアノ・バーと展望ラウンジも新しい壁紙と長椅子で生まれ変わりました。展望ラウンジの前部には、快適な籐のラウンジチェアとオットマンが小さな図書室の横に置かれています。図書室にはビルマの歴史や文化に関する本を多数取りそろえています。



新しいロード・トゥー・マンダレーのウェルビーイング・センターには、エクササイズ・マシン、フロア・ワークアウト・ゾーン及び更衣室が設置されています。隣にはヘア＆ビューティー・トリートメント・エリアがあり、デクレオール商品を用いたリラククス・トリートメントのコースがお楽しみいただけます。

再スタートにあわせ、料理長のクリスチャン・マルケール・ブルドンは新しいメニューも考案し、展望デッキやレストランにてご提供するビュッフェスタイルのランチは、ビルマ、シャン族、タイ、インドネシア、中華、インド、そしてヨーロッパと7種類のテーマをご用意いたします。ディナーは、多彩なアジアとヨーロッパ料理から毎日違うメニューのコースをご提供します。

もともとはライン川のクルーザーとして活躍してきたこの豪華な船には、82名のゲストが宿泊でき、空調も行き届いた4つのデッキにわたり客室が並びます。さらに美食家もうならせるレストラン、ピアノ・バー、展望ラウンジ、オープン・カフェ、プール付のサン・デッキ、スペシャル・ブティックとウェルビーイング・センターも完備されています。

荘重なパゴダ(仏塔)、サフロン・イエローの僧衣をまとった僧侶たち・・・昔から変わらないビルマの風景を眺めることができる静寂なロード・トゥー・マンダレー・クルーズは1名様224,000円よりお楽しみいただけます。

オリент・エクスプレスに関して

リエント・エクスプレス(www.orient-express.com)の名称は、1983年に世界で最も贅沢でエキサイティングな列車の旅を提供した伝説の豪華列車が起源です。現在、オリент・エクスプレスは五大陸、25カ国で、ホテル、クルーズ、さらなる列車によるラグジュアリーな旅を提供しています。同社は1976年にイタリア、ベニス伝説のホテル・チプリアーニを購入時に誕生し、その後ベニス・シンプロン・オリент・エクスプレスとしてロンドン、パリからベニスまで運行を開始し伝説の豪華列車の旅を蘇らせました。現在、オリент・エクスプレスは50に及ぶビジネスを展開しています。

所有、または一部所有し運営する40のホテルは、南アフリカ、ケープタウンのマウント・ネルソン、ブラジル、リオのコパカバーナ・パレス、ロシア、サンクトペテルブルグのグランド・ホテル・ヨーロッパ、メキシコ、リビエラマヤのマロマ・リゾート&スパなど、世界の名だたるコレクションです。また、ニューヨークの伝説的なレストラン「21」を含む2つのレストラン、2つのリバークルーズ、6つの列車を展開しています。

オリент・エクスプレスの詳細は、 www.orient-express.co.jp でご覧いただけます。

日本での予約・問い合わせ：オリент・エクスプレス・ホテルズ、トレインズ&クルーズ、フリーダイヤル 0120-34-0073

このプレス・リリースに関するお問い合わせ、資料送付のご希望は、
オリент・エクスプレス・ホテルズ・トレインズ&クルーズPR代理店、ケントス・ネットワークまでご連絡ください。
： 03-3403-5328 / e-mail: info@kentosnetwork.co.jp
<http://www.kentosnetwork.co.jp>